

蔵王レストハウス及び各避難小屋への防災用品の配備について

- 1 目的 御嶽山の噴火を踏まえ、万一の場合に備えるため、蔵王レストハウス及び各避難小屋に防災用ヘルメット及び飲料水等の防災用品を、早急に配備するもの。
- 2 日時 平成26年10月15日（水） 午前11時から午後3時ごろまで
- 3 場所 蔵王レストハウス、レストハウス内避難小屋、刈田岳避難小屋、熊野岳避難小屋の4か所（4か所とも宮城県が設置、管理。）
- 4 主催 宮城県
- 5 配備品

品名	個数	備考
①防災用ヘルメット	250個	FRP製。通常品（ABS製）よりも耐熱性・耐候性が高い。正面に「み」マーク（緑字）、側面に「宮城県」（黒字）の刻印あり。
②飲料水	250本	500mlペットボトル。7年保存水。
③防塵マスク	500枚	1人あたり2枚使用と想定。使用時間が長いと目詰まりするため。
④非常用メガフォン	2個	避難誘導等に使用。サイレン付き。 到達距離：音声約315m，サイレン時約500m

6 配備内訳

品名	配備場所				計
	蔵王レストハウス	レストハウス内 避難小屋	刈田岳 避難小屋	熊野岳 避難小屋	
※収容人員（概算）	250～300人	10～15人	20～30人	20～30人	300～375人
①防災用ヘルメット	200個	10	20	20	250個
②飲料水	200本	10	20	20	250本
③防塵マスク	400枚	20	40	40	500枚
④非常用メガフォン	2個	—	—	—	2個

※収容人員はあくまで座位による概算であり、避難の態様により異なります。例：立位、座位、臥位（寝た状態）等。

7 これまでの主な対応（参考）

- ①10月1日（水）宮城県（観光課）が、蔵王レストハウス、レストハウス内避難小屋、刈田岳避難小屋及び熊野岳避難小屋の4か所に、「掲示物」計17枚を貼り、注意喚起を行った。
- ②10月11日（土）仙台管区气象台からの依頼を受け、宮城県及び山形県連名の「立て看板」を、御釜から半径1キロメートル以内の主な場所、及び御釜に通じる主な登山道入口に設置し、注意喚起を行った。計10か所。
また、①の掲示物の文面を、新たなものに交換した。（計17枚）